



ホームページも
ご覧ください

三用小学校 学校だより



令和7年度 第9号 12月（2学期最終号：保護者・地域配布用）

南魚沼市立三用小学校 令和7年12月23日 文責：校長 大関 聰

『仕上げの3学期』のために、有意義な冬休みを！

79日間の2学期が、本日23日（火）をもって終了いたしました。昨年と異なり、インフルエンザなどの感染症の流行や熊などの出没報告が多くされた中でも、なんとか無事にお子さんの安全、安心を守り教育活動を進められたことに安堵しております。こうして滞りなく運営できたことも、お子さんの健康管理に気を付け、必要に応じては学校まで送迎してくださった保護者やご家族の皆様、子どもたちが安全に登下校できるように見守ってくださった地域の皆様のご理解、ご協力をいたただけたからだと思います。改めて深く感謝いたします。

明日から冬休みに入ります。子どもたちには学年に応じて、**自分の命を大切にするための行動**をとるよう繰り返し指導しております。特にこれから季節は、降雪だけでなく、道路の凍結に伴う安全確保に気を付けてほしいと思っています。今後も保護者、地域の皆様から温かい目で見守っていただけたとあります。

ご家庭でも改めて、生活上の様々な約束事をお子さんと見直したり、確認したりしてください。また、子どもたちは家族の一員として、お手伝いにも取り組ませてほしいと思います。お手伝いをした後、子どもが、自分ががんばりをお家の方から褒められる経験は、自己有用感を高められる、とてもよい機会です。よろしくお願ひいたします。

ご家族の皆様にとっても、よい冬休みとなることを願っております。1月8日（木）に子どもたちの元気なあいさつとともに、3学期がスタートできることを職員一同、楽しみにしております。

子どもたちのインターネットやSNS等を適切に利用するためのスキルやモラルを身に付けることをめあてとして、12/10（水）「情報モラル教室」を実施しました（講師：長岡市教育委員会 大久保 真紀 様）

5時間目に1・2年生を対象とし、6時間目に3～6年生を対象として教室を設定しました。1・2年生の授業で大久保先生は、まずははじめに、インターネットやSNSは光の部分（便利な道具）と影の部分（危険な道具）があることを伝えた上で、「**その道具（インターネットやSNS）は使う人によって、いいものにもそうでないものになる。**」「**先生もお家の方も皆さんに上手く付き合ってほしいと願っている。**」ということを力強く伝えた上で、どのようにしていったらいいか、低学年でも分かる言葉を使いながら、分かりやすくお話をしてくださいました。3年生以上を対象とした授業では、より具体的な例を挙げ、お話をしてくださいました。



冬休みは、こうしたメディアにふれる時間が多くなると思います。ご家庭でのルールをもう一度確認していただき、お子さんが規則正しい生活が送れるようサポートをお願いしたいと思います。

1月の予定

- ※12月27日（土）～1月4日（日）閉学日
- 8日（木）3学期始業式・全校給食後放課
- 9日（金）新春書き初め会
- 12日（月）成人の日
- 15日（木）生活朝会
- 19日（月）地域の方からの読み聞かせ（8：25～）
- 21日（水）下学年アルペンスキー授業①（午前中）
- 22日（木）任命式・意見発表
- 23日（金）上學年アルペンスキー授業①（午前中）

28日（水）大和中学校体験入学（6年生：午後）

大和中学校保護者入学説明会（午後）

下学年アルペンスキー授業②（午前中）

29日（木）知能検査（2限）1・3・5年生

30日（金）上學年アルペンスキー授業②（午前中）

12/25(木)八海山麓スキー場のオープニングセレモニーに、三用小トランペット鼓隊が登場します（10:00～）。ご都合がつく方は、ご来場お待ちしております。



アルビレックス新潟 堀米選手來たる!!!

各種メディアにも紹介されたとおり、12月11日(木)、三用小学校に、今シーズンまでアルビレックス新潟のトップチームのキャプテンを務められた堀米悠斗選手が来校されました。4時間目の講演会、6年生との給食、お昼休みのレクリエーションとたくさんの時間、子どもたちと共に過ごしていただきました。子どもたちにとって、現役のプロ・アスリートの方との出会いやふれあいは、本当にいい経験になったと感じています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

6年生が学習に取り組んでいる「キャリア教育」の一環として、何とか交流ができないものかと、当校のある職員がお願いの連絡したのが、訪問のきっかけでした。1学期中頃、初めて連絡をした時は、「(選手のコンディション等の関係で)交流 자체難しい。」との返事でした。2学期後半になってから、「オンラインなら可能かも…。」という連絡が入り、その後「4時間目の時間帯なら…。」と、どんどん話が進んでいきました。こうして話がトントン拍子に進んだ裏には堀米選手の『9年間お世話になった新潟の人たちのために。』という強い思いがあったことを同行されたスタッフの方からお聞きしました。

三用小学校の子どもたちの今回の貴重な経験は、堀米選手の強い思い、そして、『子どもたちのために』と最初に動いてくれた当校職員の思いがあったからです。けれどそれだけではありません。訪問に向け様々な準備、調整をしてくださったアルビレックス新潟のスタッフの皆様、同様に当日まで連絡調整に走ってくれた当校職員の先生方の存在がありました。たくさんの人たちの『三用小学校の子どもたちのために』という思いが今回の訪問を実現できたのだと思っております。たくさんの方々に感謝しております。ありがとうございました。

4時間目の出会いから昼休み終了までの約2時間。子どもたちは、真剣に話を聞き、素直な気持ちで質問をしたり、一緒に楽しく遊んだりしました。子どもたちは、本当に素直な反応を見せていました。堀米選手も「本当に素直な子どもたちですね。」と、純粋な子どもたちの様子に驚きを隠せない様子でした。また、「一緒に過ごすことができて、とても楽しかった。」ともおっしゃっていました。

少し話は変わりますが、こうした話をしながら、私は前日に来校された「情報モラル教室」の講師、大久保様を思い出しました。大久保様は、「毎年、年間、150件ほどの講演を引き受けているが、今日の講演会はとても楽しかった。低学年の部も3年生以上の部も…。話を聞いて、私の話を聞いてくれていることが分かる。笑うところは笑ってくれるし、真剣に考えてくれるところは、本当に真剣な表情がある。私が話すとちゃんと反応が返ってくる。うれしい。」と話していました。

堀米選手は同じ雪国でもある、札幌の出身ということもあり、「雪国だからってサッカーができないって言いい訳にしてほしくない。雪国から絶対にプロサッカー選手が出てほしい。世界を驚かせるような選手が出てきてほしい。」とご自身の本音を強く話す姿がありました。また、子どもたちからのエールを受け「まさか学校訪問で泣くとは思わなかった。」ともおっしゃっていました。こうした姿は、子どもたちの真剣なまなざしに心動くものがあったからだと思います。

3~6年生の下校時に再度、子どもたちと顔を合わせる機会がありました。子どもたちが毎回している『帰りのじやんけん』にも快く参加してくださいました。

堀米選手の表情を見たり、前日の大久保様の様子を思い出したりすると、三用小学校の子どもたちは、かかわる大人に、たくさんの元気や心のエネルギーを贈る力をもっているのではないかと思いました。そしてそんな子どもたちを誇らしくも思いました。

